

モニタリング項目 No. 19（適正利用に向けた管理・取組状況調査）の実施結果

概要	モニタリング項目 No. 19（適正利用に向けた管理・取組状況調査）は、知床における適正利用の基本方針である知床エコツーリズム戦略に基づいた管理や取組状況を把握し、評価することを目的とした調査。
調査手法	「知床エコツーリズム戦略9. 具体的方策」を実現するための関係機関の管理と取組の実施状況を、知床白書から抽出し、その結果を、「知床エコツーリズム戦略9. 具体的方策」の項目ごとに列挙して整理した。
調査対象年	前回調査として、2019年度の知床白書を対象としてとりまとめを行なった（2021年度第2回エコツーリズムWGで報告）。 今回は、2020年度、2021年度、2022年度の3か年の知床白書を対象に、とりまとめ作業を行った。
調査者	1次調査者 吉田 久美子（知床財団） 2次調査者 坂部 皆子（知床財団）

○2020年度知床白書

エコツアーリズム戦略 9. 具体的方策	2020年度 (R2)			
	新規/継続	内容	白書掲載頁	備考
(1) 利用コントロール 自然環境の保全、観光客の安全確保、原始性の保持、付加価値の向上等の目的に応じた利用コントロールが実施されているか。	変 1999- 新 2020 変 2011- 継 2011-	カムイワッカ地区マイカー規制の実施 (コロナによる短縮) 知床オータムバスデイズ (ホロベツ地区からのマイカー規制社会実験) 知床五湖利用調整地区制度の運用。コロナ対策による変則運用。 硫黄山登山道道路特例使用	P. 66, 67, 83 P. 7, 76 P. 64-65, 84 P. 15	10日間 3日間 3,068人日 約6カ月間 (コロナ)
(2) 守るべきルールの設定と指導 自然環境の保全、観光客の安全確保、地域の文化・生活への配慮等の目的に応じたルールが設定されているか。また、それらのルールの指導が行われているか。	継 1984- 継 継 継 継 2019-	知床岬の利用規制に関する申し合わせによる行政機関合同巡視 スノーモービル、航空機乗入れ規制の巡視・取締り カムイワッカ地区の監視員配置 管理機関による巡視 国立公園利用のあり方に関する行政間会議	P. 85 P. 86 P. 84 P. 12-13 P. 63	79日間 2185人日
(3) 情報の発信 地域主体のエコツアーの増加や守るべきルールの周知を目的とした情報発信が行われているか。	継 2017- 継 継 継 継 新 2020- 継	ヒグマ管理計画に基づく情報周知 Web やパンフレット等での普及啓発 利用施設等での情報提供、情報発信 携帯トイレの普及 (リーフレット配布) ヒグマ注意喚起メールの配信、チラシの作成及び新聞への折り込み 「知床ディスタンス! キャンペーン」開始 カムイワッカ・シャトルバスに関するチラシの作成及び配布	P. 34-35, 81, 84 P. 83 P. 85 P. 88 P. 8, 81 P. 83	7月~9月
(4) ガイドの育成とガイドの利用推奨 ガイドの育成が行われ、ガイド利用が推奨されているか。	継 2008- 継 2010-	厳冬期の知床五湖エコツアー事業の実施 知床五湖利用調整地区制度による引率者の登録	P. 79-80 P. 81	44日789人
(5) 文化的資産等の活用 保全に留意しながら文化的資産等が活用されているか。	継 変 2014-	運動地の公開、「しれとこ森づくりの道」の運用 赤岩地区昆布ツアー (募集停止)	P. 51 P. 63	1,022人 コロナ
(6) 利益の還元 観光利用によって得られた利益が地域の自然や社会に還元されているか。	継/変 2008- 終 2011- 継 2014-	自主除雪による厳冬期の知床五湖エコツアーの実施 (1/25-3/10) 知床五湖における住民還元キャンペーン ウトロ海域環境保全協議会によるハンドブック販売益の保全活動への還元	P. 63, 65 終了 P. 73	44日 789人

エコツーリズム戦略 9. 具体的方策	2020年度 (R2)			
	新規/継続	内容	白書掲載頁	備考
(7) 施設整備 年次計画による計画的な施設整備が行われているか。	継 2015- 継 2018- 継 2018- 継 継 継 新 2020-	ホロベツ園地整備事業（外構整備事業） 道道知床公園羅臼線防災・安全交付金事業（雪崩予防対策） 羅臼温泉園地事業（木道改修） 知床連山登山道保全管理 羅臼岳登山道保全管理 登山道等の利用者カウンターを新築 仮設トイレの設置（知床峠、カムイワッカ湯の滝等） 熊越の滝遊歩道の木道等の設置	P. 19 P. 21 P. 19 P. 28 P. 28 P. 15 P. 14-18 P. 17	外構工事
(8) モニタリング 観光客の評価（満足度や感想など）やニーズ、行動特性の変化等がモニタリングされているか。	継 継 2011- 新 2018- 継/変 2012- 継 2015-	知床世界自然遺産地域の利用状況調査 知床半島先端部地区利用状況調査 フレペの滝遊歩道植生調査 羅臼湖歩道植生モニタリング 登山道の不適切なし尿の状況調査	P. 53~71 P. 27 P. 14 P. 27 P. 85	

凡例

新：新規の取組

継：継続的に実施されている取組

変：過去にも実施されているが、大きな変化があった取組

○2021年度知床白書

エコツーリズム戦略 9. 具体的方策	2021年度 (R3)			
	新規/継続	内容	白書掲載頁	備考
(1) 利用コントロール	継 1999- 継 2020- 継 2011- 継 2011- 新 2021-	カムイワッカ地区マイカー規制の実施 (コロナによる短縮) 知床オータムバスデイズ(ホロベツ地区からのマイカー規制社会実験) 知床五湖利用調整地区制度の運用 硫黄山登山道道路特例使用 カムイワッカ湯の滝 1 の滝奥再利用試行事業	P. 65, 80 P. 65, 73 P. 61-62 P. 16 P. 72	13 日間 3 日間、 2, 475 人日 約 7 カ月間
(2) 守るべきルールの設定と指導 自然環境の保全、観光客の安全確保、地域の文化・生活への配慮等の目的に応じたルールが設定されているか。また、それらのルールの指導が行われているか。	継 1984- 継 継 継 新 2021 新 2021	知床岬の利用規制に関する申し合わせによる行政機関合同巡視 スノーモービル、航空機乗入れ規制の巡視・取締り カムイワッカ地区の監視員配置 管理機関による巡視 自然公園法の改正 知床羅臼ヒグマクルーズ船協議会による自主ルール“野生動物ウォッチングルール”策定	P. 81 P. 82 P. 80 P. 13-14 P. 8-9 P. 71	75 日間 2, 335 人日
(3) 情報の発信 地域主体のエコツアーの増加や守るべきルールの周知を目的とした情報発信が行われているか。	継 2017- 継 継 継 継 2020- 継 継 新	ヒグマ管理計画に基づく情報周知 Web やパンフレット等での普及啓発 利用施設等での情報提供、情報発信 携帯トイレの普及(リーフレットの作成) ヒグマ注意喚起メールの配信、チラシの作成及び新聞への折り込み 「知床ディスタンス! キャンペーン」実施 カムイワッカ・シャトルバスに関するチラシの作成及び配布 ウトロ海域環境保全協議会による海鳥WEEK の実施 羅臼町陸と海のシレココ・プロジェクトの開始	P. 33-34, 71, 81, 84 P. 79 P. 81 P. 33-34 P. 83 P. 80 P. 73	
(4) ガイドの育成とガイドの利用推奨 ガイドの育成が行われ、ガイド利用が推奨されているか。	継 2008- 変 2010-	厳冬期の知床五湖エコツアー事業の実施 知床五湖利用調整地区制度による引率者の登録(コロナにより新規募集停止)	P. 60 P. 77	41.5 日 1, 382 人
(5) 文化的資産等の活用 保全に留意しながら文化的資産等が活用されているか。	継 継 継 終 2021-	「しれとこ森づくりの道」の運用 「しれとこ森の集い(植樹祭)」 「森づくりワーケーション」 赤岩地区昆布ツアー(募集停止)	P. 50 P. 50 P. 50 P. 60	1, 339 人 126 人 7 人

エコツーリズム戦略 9. 具体的方策	2021年度 (R3)			
	新規/継続	内容	白書掲載頁	備考
(6) 利益の還元 観光利用によって得られた利益が地域の自然や社会に還元されているか。	継 2008- 継 2014- 終 2021-	自主除雪による厳冬期の知床五湖エコツアーの実施 ウトロ海域環境保全協議会によるハンドブック販売益の保全活動への還元 赤岩地区昆布ツアー（募集停止）	P. 60 P. 70 P. 60	41.5日 1,382人
(7) 施設整備 年次計画による計画的な施設整備が行われているか。	新 2021- 継 継 継 2020-	羅臼町遊歩道再整備事業 知床連山登山道保安全管理 羅臼岳登山道保安全管理 仮設トイレの設置（知床峠、カムイワッカ湯の滝等） 熊越の滝遊歩道の木柵・案内標識等の設置	P. 17 P. 20 P. 28 P. 15-19 P. 17, 79	
(8) モニタリング 観光客の評価（満足度や感想など）やニーズ、行動特性の変化等がモニタリングされているか。	継 継 2011- 新 2018- 継 2014- 継 2012- 継 2015- 新 2021	知床世界自然遺産地域の利用状況調査 知床半島先端部地区利用状況調査 フレペの滝遊歩道植生調査 知床沼植生モニタリング 羅臼湖歩道植生モニタリング 登山道のし尿の状況調査 知床世界自然遺産地域・長期モニタリング計画（2012～2021）総合評価の実施	P. 51-68 P. 27 P. 15 P. 75 P. 75 P. 81 P. 2	

凡例

新：新規の取組

継：継続的に実施されている取組

変：過去にも実施されているが、大きな変化があった取組

○2022 年度知床白書

エコツアーリズム戦略 9. 具体的方策	2022 年度 (R4)			
	新規/継続	内容	白書掲載頁	備考
(1) 利用コントロール 自然環境の保全、観光客の安全確保、原始性の保持、付加価値の向上等の目的に応じた利用コントロールが実施されているか。	変 1999-	カムイワッカ地区マイカー規制の実施(8/7-/16) コロナによる短縮	P. 64	短縮 10 日間
	継 2020-	知床オータムバスデイズ(ホロベツ地区からのマイカー規制社会実験)	P. 74-75	3 日間
	継 2011- 継 2011-	知床五湖利用調整地区制度の運用 硫黄山登山道道路特例使用	P. 61- P.62, 75	約 7 カ間
	変 2021-	カムイワッカ湯の滝 1 の滝以奥再利用試行事業(2 年目)	P. 12 P. 61-62, 66-67	短縮 3 日間
(2) 守るべきルールの設定と指導 自然環境の保全、観光客の安全確保、地域の文化・生活への配慮等の目的に応じたルールが設定されているか。また、それらのルールの指導が行われているか。	継 1984-	知床岬の利用規制に関する申し合わせによる行政機関合同巡視	P. 76	
	継	スノーモービル、航空機乗入れ規制の巡視・取締り	P. 77	
	継 継	カムイワッカ地区の監視員配置 管理機関による巡視	P. 76 P. 10-11	75 日間 2,235 人日
	継 2021- 新	改正自然公園法の施行(4/1~) 知床アクティビティリスク管理体制検討協議会発足	P. 32-33	斜里町
(3) 情報の発信 地域主体のエコツアーの増加や守るべきルールの周知を目的とした情報発信が行われているか。	継 2017-	ヒグマ管理計画に基づく情報周知 Web やパンフレット等での普及啓発	P. 31- 32, 72, 74-75	
	継 継	利用施設等での情報提供、情報発信 携帯トイレの普及(リーフレットの作成)	P. 76-77 P. 76	
	継	ヒグマ注意喚起メールの配信、チラシの作成及び新聞への折り込み	P. 66	
	継 2020-	「知床ディスタンス! キャンペーン」の実施	P. 79	
	継	カムイワッカ・シャトルバスに関するチラシの作成及び配布	P. 75	
	継	ウトロ海域環境保全協議会による海鳥WEEK の実施	P. 67	
	継 2021-	羅臼町陸と海のシレココ・プロジェクトの実施		
(4) ガイドの育成とガイドの利用推奨 ガイドの育成が行われ、ガイド利用が推奨されているか。	継 2008-	厳冬期の知床五湖エコツアー事業の実施	P. 61	45.5 日 1,760 人
	継 2010-	知床五湖利用調整地区制度による引率者の登録	P. 72	

エコツーリズム戦略 9. 具体的方策	2022年度 (R4)			
	新規/継続	内容	白書掲載頁	備考
(5) 文化的資産等の活用 保全に留意しながら文化的資産等が活用されているか。	継 継 継 終	「しれとこ森づくりの道」の運用 「しれとこ森の集い(植樹祭)」 「森づくりワークキャンプ」 森づくりサステナブルツアー(10/2) 赤岩地区昆布ツアー事業継続断念、実施部会解散	P. 52 P. 52 P. 52 P. 68 P. 60	1,778人 104人 9人 4人
(6) 利益の還元 観光利用によって得られた利益が地域の自然や社会に還元されているか。	継 2008- 継 2014- 終	自主除雪による厳冬期の知床五湖エコツアーの実施 ウトロ海域環境保全協議会によるハンドブック販売益の保全活動への還元 赤岩地区昆布ツアー事業継続断念、実施部会解散	P. 61, 77 P. 76 P. 60	45.5日 1,382人
(7) 施設整備 年次計画による計画的な施設整備が行われているか。	継 継 2021- 継 2021- 継 2020-	知床連山登山道保全管理 羅臼岳登山道保全管理 カムイワッカ湯の滝利用者のための仮設トイレの設置 熊越の滝遊歩道の修繕	P. 20 P. 20 P. 26, 76 P. 76, P. 18	
(8) モニタリング 観光客の評価(満足度や感想など)やニーズ、行動特性の変化等がモニタリングされているか。	継 継 2011- 継 継 2012- 継 2015- 新	知床世界自然遺産地域の利用状況調査 知床半島先端部地区利用状況調査 知床連山、知床沼、知床岬植生モニタリング 羅臼湖歩道植生モニタリング 登山道のし尿の状況調査 長期モニタリング(2012-2021)総合評価の結果報告・公開シンポジウム開催	P. 51-57 P. 25 P. 70 P. 70 P. 76 P. 5-6	札幌市

凡例

新：新規の取組

継：継続的に実施されている取組

変：過去にも実施されているが、大きな変化があった取組

		2010年度 (H22)	2011年度 (H23)	2012年度 (H24)	2013年度 (H25)	2014年度 (H26)	2015年度 (H27)	2016年度 (H28)	2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)
(1) 利用コントロール	カムイワッカ地区マイカー規制の実施(1999) 自然環境の保全、観光客の安全確保、原始性の保持、付加価値の向上等の目的に応じた利用コントロールが実施されているか。 知床オータムバスデイズ(ホロベツ地区からのマイカー規制社会実験) 知床五湖利用調整地区制度(2011) 硫黄山登山道特例使用(2011) カムイワッカ湯の滝1の滝以奥再利用試行事業(3年間) その他	70日間 →					25日間 →	→	30日間 →	25日間 →	25日間 →	10日間(コロナ短縮) → 【開始】→ 3日間、3,068人日	13日間(コロナ短縮) → 3日間、2,475人日	10日間(コロナ短縮) 3日間、1,780人日
(2) 守るべきルールの設定と指導	知床峠の利用規制に関する申し合わせの行政機関合同巡視(1984) スノーモービル、航空機乗入れ規制の巡視・取締り 自然環境の保全、観光客の安全確保、地域の文化・生活への配慮等の目的に応じたルールが設定されているか、また、それらのルールの指導が行われているか。 羅臼海域の利用適正化に向けた取組(2009) 適正利用・エコツーリズム検討会議(2010) 先端部地区利用の心得 国立公園の利用のあり方懇談会(2017) 国立公園の利用のあり方に関する行政間会議(2019) ヒグマ保護管理方針検討会議(2010) ヒグマ保護管理方針に基づく安全対策の実施(2012) ヒグマ管理計画に基づく各種対策の実施(2017) カムイワッカ地区の監視員配置 エコツーリズムガイドラインの運用 羅臼湖ルールの普及 岩尾別温泉道路におけるカメラマン対策 管理機関による巡視 その他		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
(3) 情報の発信	Webやパンフレット等を通じた普及啓発 地域主体のエコツアーの増加や守るべきルールの周知を目的とした情報発信が行われているか。 携帯トイレの普及(リーフレットの作成) ヒグマ注意喚起メールの配信、チラシの作成 ヒグマ保護管理方針に基づく情報周知(2012) ヒグマ管理計画に基づく情報周知(2017) ヒグマ餌やり禁止キャンペーンの実施(2013) 「知床ディスタンス！キャンペーン」(2020) 外国人旅行者向け情報発信の強化事業の実施(2015) インバウンド受け入れ体制の底上げ事業 カムイワッカ・シャトルバスに関するチラシの作成 その他	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
(4) ガイドの育成とガイド利用の推奨	知床五湖冬期利用事業(2008) 厳冬の知床五湖エコツアー事業の実施(2014) 知床五湖登録引率者の育成・登録 その他	→	→	→	→	↓	→	→	→	→	→	→	→	→
(5) 文化的資産等の活用	「しれとこ森づくりの道」の運用 赤岩地区昆布ツアーの実施(2014) 「しれとこ森の集い(植樹祭)」 その他													
(6) 利益の還元	厳冬の知床五湖エコツアーの実施(2008) 観光利用によって得られた利益が地域の自然や社会に還元されているか。 知床五湖利用調整地区住民還元キャンペーン(2011) 知床ウトロ海域環境保全協議会の取組(2013) 赤岩地区昆布ツアーの実施(2014)													
(7) 施設整備	羅臼岳岩尾別登山道安全管理 知床連山登山道安全管理 知床公園線災害防除事業(カムイワッカ) 知床自然センター改修事業(2015) 相泊地区治山工事(2015) 羅臼温泉園地事業 知床五湖地上遊歩道の再整備 仮設トイレの設置(知床峠、カムイワッカ湯の滝等) その他	→												
(8) モニタリング	知床国立公園の利用状況調査(2004) 観光客の評価(満足度や感想など)やニーズ、行動特性の変化等がモニタリングされているか。 ウトロ海域の利用動向調査 知床国立公園の利用実態調査(2010) 五湖冬期適正利用調査(2014) 知床沼植生モニタリング(2014) 羅臼湖歩道植生モニタリング調査 フレベの滝遊歩道植生調査 登山道のし尿の状況調査 羅臼海域の適正利用に係る調査 その他	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→